

I 再編パターンについて

平成 32 年度学校規模(推計)

上段：児童数

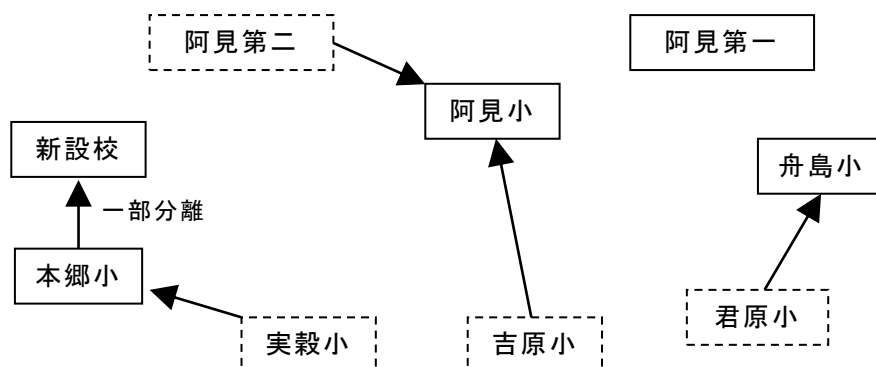
下段：学級数

		H32	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	H32
		H26	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
1	阿見小	72	70	77	70	81	83		453
		3	2	3	2	3	3		16
2	実穀小	13	24	16	23	13	20		109
		1	1	1	1	1	1		6
3	吉原小	10	3	8	8	7	9		45
		1	(1)		(1)		1		2(2)
4	本郷小	142	152	149	152	182	169		946
		5	5	5	5	6	5		31
5	君原小	6	7	10	9	18	12		62
		1	1	1	1	1	1		6
6	舟島小	25	33	14	45	32	36		185
		1	1	1	2	1	2		10
7	阿見第一小	64	68	76	66	79	72		425
		2	2	3	2	3	3		15
8	阿見第二小	26	29	27	32	35	35		184
		1	1	1	1	1	1		6
	計	358	386	377	405	447	436		2,409
		15	13 (1)	15	14 (1)	16	17		90 (2)

1. 再編パターン

(1) 再編パターン1

- ・ 進学する中学校を基本に小規模校を隣接校に統合する
- ・ 実穀小，吉原小，君原小，阿見第二小を隣接校に統合し，本郷小の一部を新設校に分離し5校に再編する
- ・ 舟島小(君原小を統合)が，平成30年度以降の新入生は1クラスとなる



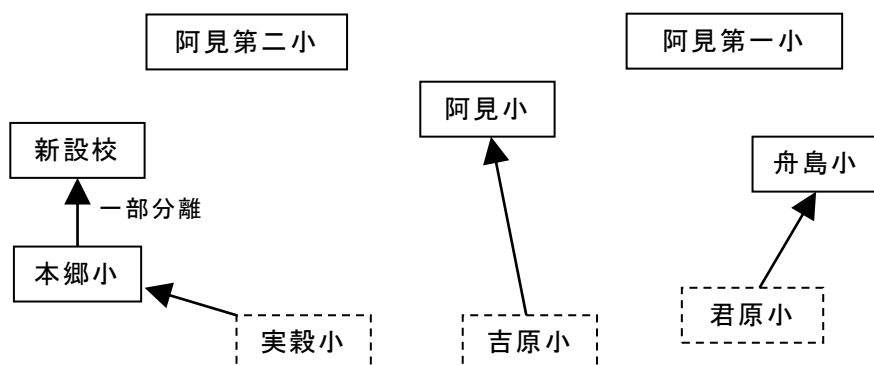
平成32年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	H32	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	H32
			H26	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
1	阿見小	吉原小，阿見第二小を統合	阿見中	108	102	112	110	123	127	682
				4	3	4	4	4	4	23
2	本郷小	実穀小を統合，一部分離	朝日中	43	51	46	56	48	53	297
				2	2	2	2	2	2	12
3	舟島小	君原小を統合	竹来中	31	40	24	54	50	48	247
				1	2	1	2	2	2	10
4	阿見第一小	変更なし	竹来中	64	68	76	66	79	72	425
				2	2	3	2	3	3	15
5	新設校	本郷小から分離	朝日中	112	125	119	119	147	136	758
				4	4	4	4	5	4	25
			計	358	386	377	405	447	436	2,409
				13	13	14	14	16	15	85

(2) 再編パターン2

- ・ 再編パターン 1 から，阿見第二小を現行のままとする 6 校に再編する案
- ・ 阿見第二小は平成 27 年度以降の新入生が 1 クラスとなる



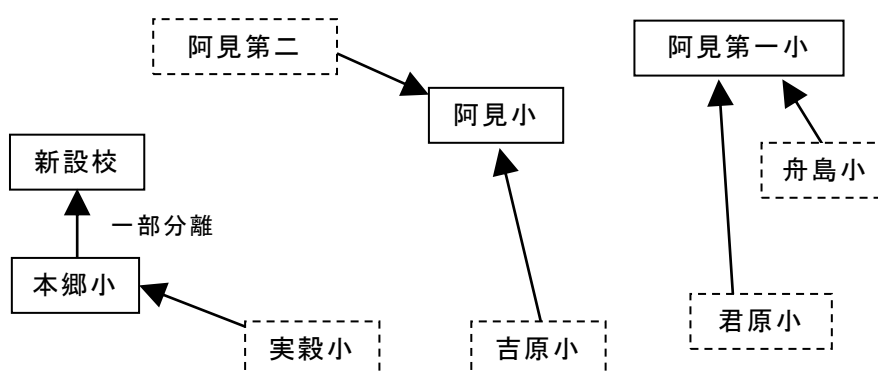
平成 32 年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	H32	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	H32
			H26	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
1	阿見小	吉原小を統合	阿見中	82 3	73 3	85 3	78 3	88 3	92 3	498 18
2	本郷小	実穀小を統合，一部分離	朝日中	43 2	51 2	46 2	56 2	48 2	53 2	297 12
3	舟島小	君原小を統合	竹来中	31 1	40 2	24 1	54 2	50 2	48 2	247 10
4	阿見第一小	変更なし	竹来中	64 2	68 2	76 3	66 2	79 3	72 3	425 15
5	阿見第二小	変更なし	阿見中	26 1	29 1	27 1	32 1	35 1	35 1	184 6
6	新設校	本郷小から分離	朝日中	112 4	125 4	119 4	119 4	147 5	136 4	758 25
			計	358 13	386 14	377 14	405 14	447 16	436 15	2,409 86

(3) 再編パターン5

- ・ 将来的に児童数の減少が進んだ場合の再編案
- ・ 阿見中・竹来中学校区に各1校、朝日中学校区2校の4校に再編する案
- ・ 舟島小地区、君原小地区からの通学が遠距離になる。(舟島小の一部地区については通学距離が短くなる)
- ・ 本郷小も、将来的には新設校に統合することを検討していく。
- ・ 小中一貫教育については、「阿見町教育推進委員会」を充実させ、今後、他の市町村の実施状況等を参考にして、阿見町の児童・生徒の実態に合った教育について継続して調査・研究していく。



平成32年度学校規模(推計)

上段:児童数 下段:学級数

	小学校	再編案	H32	1年	2年	3年	4年	5年	6年	H32
			H26	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
1	阿見小	吉原小, 阿見第二小を統合	阿見中	108	102	112	110	123	127	682
				3	3	4	4	4	4	22
2	本郷小	実穀小を統合, 一部分離	朝日中	43	51	46	56	48	53	297
				2	2	2	2	2	2	12
3	阿見第一小	君原小, 舟島小を統合	竹来中	95	108	100	120	129	120	672
				3	4	3	4	4	4	22
4	新設校	本郷小から分離	朝日中	112	125	119	119	147	136	758
				4	4	4	4	5	4	25
			計	358	386	377	405	447	436	2,409
				12	13	13	14	15	14	81

2. 統合校別児童数

(1) 再編パターン1

1. 阿見小・吉原小・阿見第二小

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	109	146	133	136	117	150	791	26
平成 27 年度	127	109	146	133	136	117	768	25
平成 28 年度	123	127	109	146	133	136	774	25
平成 29 年度	110	123	127	109	146	133	748	25
平成 30 年度	112	110	123	127	109	146	727	25
平成 31 年度	102	112	110	123	127	109	683	23
平成 32 年度	108	102	112	110	123	127	682	23

2. 本郷小・実穀小

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	40	44	37	38	49	50	258	12
平成 27 年度	53	40	44	37	38	49	261	12
平成 28 年度	48	53	40	44	37	38	260	12
平成 29 年度	56	48	53	40	44	37	278	12
平成 30 年度	46	56	48	53	40	44	287	12
平成 31 年度	50	46	56	48	53	40	293	12
平成 32 年度	43	51	46	56	48	53	297	12

3. 君原小・舟島小

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	63	74	73	91	72	79	452	17
平成 27 年度	48	63	74	73	91	72	421	16
平成 28 年度	50	48	63	74	73	91	399	15
平成 29 年度	54	50	48	63	74	73	362	14
平成 30 年度	24	54	50	48	63	74	313	12
平成 31 年度	40	24	54	50	48	63	279	11
平成 32 年度	31	40	24	54	50	48	247	10

4. 阿見第一小

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	63	85	89	86	97	92	512	17
平成 27 年度	72	63	85	89	86	97	492	17
平成 28 年度	79	72	63	85	89	86	474	17
平成 29 年度	66	79	72	63	85	89	454	16
平成 30 年度	76	66	79	72	63	85	441	16
平成 31 年度	68	76	66	79	72	63	424	15
平成 32 年度	64	68	76	66	79	72	425	15

5. 新設校

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	119	94	93	82	72	91	551	18
平成 27 年度	136	119	94	93	82	72	596	19
平成 28 年度	147	136	119	94	93	82	671	22
平成 29 年度	119	147	136	119	94	93	708	23
平成 30 年度	119	119	147	136	119	94	734	24
平成 31 年度	125	119	119	147	136	119	765	25
平成 32 年度	112	125	119	119	147	136	758	25

(2) 再編パターン 2

1. 阿見小・吉原小

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	72	110	97	106	82	110	577	18
平成 27 年度	92	72	110	97	106	82	559	18
平成 28 年度	88	92	72	110	97	106	565	18
平成 29 年度	78	88	92	72	110	97	537	18
平成 30 年度	85	78	88	92	72	110	525	18
平成 31 年度	73	85	78	88	92	72	488	18
平成 32 年度	82	73	85	78	88	92	498	18

2. 阿見第二小

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	37	36	36	30	35	40	214	7
平成 27 年度	35	37	36	36	30	35	209	7
平成 28 年度	35	35	37	36	36	30	209	7
平成 29 年度	32	35	35	37	36	36	211	7
平成 30 年度	27	32	35	35	37	36	202	7
平成 31 年度	29	27	32	35	35	37	195	7
平成 32 年度	26	29	27	32	35	35	184	6

(3) 再編パターン 5

1. 君原小・舟島小・阿見第一小

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	合計	学級数
平成 26 年度	126	159	162	177	169	171	964	31
平成 27 年度	120	126	159	162	177	169	913	29
平成 28 年度	129	120	126	159	162	177	873	28
平成 29 年度	120	129	120	126	159	162	816	26
平成 30 年度	100	120	129	120	126	159	754	24
平成 31 年度	108	100	120	129	120	126	703	23
平成 32 年度	95	108	100	120	129	120	672	22

3. 前回検討委員会での意見に対する考え方

意見交換会の中で、次のような意見が出されています。

- ・ 進学する中学校を考慮してほしい。
- ・ 再編する際、現小学校の学区を分割しないでほしい。
(できるだけ小学校単位を維持、行政区ごとに分けない。)

(1) 実穀小(全体または一部) ⇒ 阿見小

- ・ 朝日中地区として、これまでの地域コミュニティーが確立されている。
- ・ 寺子地区、筑見地区は地理的に朝日中に隣接している。
- ・ 朝日中の生徒数に大きな影響はない。
- ・ 朝日中への通学路の歩道が整備されている。阿見中へは、一部整備されていない。
- ・ スクールバスを利用することで、阿見小へ統合することは可能だが、本郷小へ統合していくのが自然な考え方と考えられる。

(2) 阿見小(一部) ⇒ 阿見第二小

- ・ 隣接する地区を第二小学区としても、学校規模にあまり影響はない。

H32 児童数推計（中郷西 15 人、三区上 20 人、三区下 10 人）

- ・ 第二小については、阿見小への統合を検討していく。現在 200 人以上の児童が在籍していることから、今後の児童数の推移を見ながら段階的に検討する。
- ・ 阿見小については、現状のままだと望ましいと考えられる。

(3) 本郷小（一部） ⇒ 阿見第二小へ

- ・ 朝日中地区として、これまでの地域コミュニティーが確立されている。
- ・ 行政区として面積が広く、児童数は H32 で 92 人だが、二区北に隣接した地域が多く、その他の地域に点在している。
- ・ 現状の本郷小または新設校への通学の望ましいと考えられる。

4. 本郷地区新小学校について

(1) 事業地の概要

- ・ 所在地 稲敷郡阿見町本郷 1-5 (オルティエ本郷地内)
- ・ 敷地面積 26,049.35 m²
- ・ 都市計画区域 市街化区域
- ・ 用途地域 第一種中高層住居専用地域
- ・ 都市設備 上・下水道, 都市ガス

(2) 施設規模

① 校舎

- ・ 建物構造 鉄筋コンクリート造
- ・ 延床面積 8,000 m²程度
- ・ 保有教室数等
 - 普通教室 24 教室 (1 学年 4 クラスを想定)
 - 特別支援教室 4 教室
 - 特別教室 9 教室程度理科教室, 生活教室, 音楽教室, 図画工作教室, 家庭教室, 視聴覚教室, コンピュータ教室, 図書室, 特別活動室等

② 屋内運動場

- ・ 建物構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
- ・ 延床面積 1,400 m²程度

③ プール 計画していない

④ 児童クラブ 敷地内に別棟で建設予定 (担当: 保健福祉部児童館)

(3) 事業計画予定スケジュール

- | | |
|-------------|---|
| 平成 26 年度 | 7 月 14 日 第 1 回本郷地区新小学校建設検討委員会開催
基本設計業務 |
| 平成 27 年度 | 実施設計業務 (地質調査・測量業務等含) |
| 平成 28・29 年度 | 校舎建設工事 (2 ヶ年継続), 屋内運動場建設工事, 外構工事 |
| 平成 30 年度 | 4 月開校 |

(4) 学校規模の算出根拠

① 学校規模等に関する制度

➤ 学校教育法施行規則第 41 条

- ・ 小学校の学級数は 12 学級以上 18 学級以下を標準とする。
(同規則第 79 条により, 中学校についてもこの規定を準用)

➤ 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第 4 条
適正な学校規模の条件として, 学級数は概ね 12 学級から 18 学級までである
こと。(統合する場合は 24 学級まで)

- ・ 小学校では各学年 2～3 学級
- ・ 中学校においては各学年 4～6 学級

➤ 学校規模の分類(学級数) 学級規模の分類(学級数)

「これからの学校施設づくり」昭和 59 年 旧文部省助成課資料より)

	過小規模	小規模校	標準規模	大規模校	過大規模
小学校	5 以下	6～11	12～18	19～30	31 以上
中学校	2 以下	3～11	12～18	19～30	31 以上

② 「阿見町立学校再編に関する基本方針」から

小学校の望ましい学校規模は1学年2学級以上とする。

概ね1学年2～4学級(学校全体では12～24学級)

③ 大規模校の主なデメリット

- ・ 学習面では, 全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
学校行事等において, 児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。
- ・ 生活面では学年内・異学年間の交流が不十分になりやすい。全教職員による各児童
一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
- ・ 学校運営面では, 教職員相互の連絡調整が図りづらい。特別教室や体育館等の施
設・設備の利用の面から, 学校活動に一定の制約が生じる場合がある。
- ・ その他, 保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。